

日時

2025年

12月14日(日)
13:00~16:00

対象 子どもの本に関心のある方

定員 50名(申込先着順)

会場 大阪府立中央図書館 多目的室
東大阪市荒本北 1-2-1
近鉄けいはんな線荒本駅 北西 400m

参加費 1,000円

申込み 財団 HP ▶▶ 参加申込 から、または
電話、ファックスでお申込みください。



◆ 関連企画展示 ◆

「日本児童文学戦後80年のあゆみ」

11月14日(金)~12月28日(日)
大阪府立中央図書館国際児童文学館で開催

講師



宮川 健郎さん
当財団理事、
武蔵野大学名誉教授



藤田 のぼるさん
児童文学評論家、作家

講師プロフィール profile

藤田 のぼるさん(児童文学評論家、作家)

1950年、秋田県生まれ。日本児童文学者協会理事長。著書に『児童文学に今を問う』(教育出版センター 1990年)『児童文学への3つの質問』(て5いんく 2001年)など。創作作品に『みんなの家出』(福音館書店 2013年 第61回産経児童出版文化賞)などがある。宮川健郎との共編著に『遊びは勉強だち先生〜「ズッコケ三人組」の作家・藤田正幹大研究〜』(ポプラ社 2022年)。近著に『童話作家のアイウエオ〜現代児童文学を創る50人の作家たち〜』(文芸堂 2025年)があり、個人誌『トルザークの館』で、日本の現代児童文学史を連載中。

宮川 健郎さん(当財団理事、武蔵野大学名誉教授)

1955年、東京に生まれる。児童文学研究者。宮城教育大学助教授を経て現職。日本児童文学学会前会長。日本児童文学者協会評議員。著書に『現代児童文学の語るもの』(NHKブックス 1996年)『物語もっと深読み教室』(岩波ジュニア新書 2013年)など。代表をつとめる、おまんこ研究会編著『おまんこハンドブック』(三省堂 2019年)。大阪国際児童文学振興財団編『ひとりでもたよ! 幼文学おすすめブックガイド 200』(評論社 2019年)。『戦争文学セレクション』全3巻(汐文社 2025年)の編集の仕事もある。

主催：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 (IICLO)

後援：大阪府立中央図書館

助成：子どもゆめ基金助成活動

この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真や映像等は、広報用にホームページやSNS、刊行物に使用することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した個人情報(写真)は、『(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程』に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

問い合わせ・申込み



一般財団法人
大阪国際児童文学振興財団
International Institute for Children's Literature, Osaka

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL 06-6744-0581 FAX 06-6744-0582
http://www.iiclo.or.jp/ E-mail:office@iiclo.or.jp

講演と対談

日本児童文学 戦後 80年

戦後、日本児童文学はどのような歴史をたどってきたのか。
社会が大きく変化する中で、これからの児童文学は
どうあるべきかについて講演し、お話しいただきます。